

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2026年3月6日

～衛星データを活用した保険の新たな価値提供に向けて～
小型SAR衛星を手掛けるQPSに出資

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、小型SAR衛星^{※1}を手掛ける株式会社QPSホールディングス（以下「QPS」）への出資を本日決定しました。当社は、QPSが目指す衛星コンステレーションによる高頻度・高解像度のデータを活用することで、リスク評価や損害査定、商品開発等の高度化を図り、お客さまへ保険商品・サービスの新たな価値を提供するとともに、長期的な収益基盤の強化と競争優位性の確立に取り組んでいきます。

※1：地表に照射したマイクロ波の反射波で地表画像を取得する合成開口レーダー（Synthetic Aperture Rader）を搭載した地球観測衛星

1. 背景

近年、気候変動等を背景に自然災害が激甚化・頻発化しています。保険会社にはこれまで以上に高度かつ迅速なリスク評価や損害査定が求められる一方で、災害発生時の天候や時間帯、被害範囲によっては正確な状況把握に時間を要することが課題となっています。

当社は、2025年9月からQPS子会社で小型SAR衛星を開発・製造・運用するQPS研究所等と、水害発生時の迅速な状況把握に向けた実証^{※2}を実施し、地表の変化や構造物の状況を悪天候でも昼夜問わず高精度に把握できる同社の小型SAR衛星のデータ有用性を確認しました。

今後、衛星データの一層の活用を図り、保険の高度化と幅広い領域における利活用の検討を加速させるため、本出資を決定しました。

※2：[QPS研究所、民間企業3社・久留米市と5者間の官民連携による水害対策の実証実験協定を締結](#)
(QPS研究所 2025年9月30日ニュースリリース)

2. QPSの概要 (<https://qpshd.com>)

会社名	株式会社QPSホールディングス
所在地	福岡県福岡市中央区天神1-15-35 レンゴー福岡天神ビル6階
代表者	代表取締役社長 CEO 大西 俊輔
設立年	2025年12月
事業内容	人工衛星等を手掛けるグループ会社の経営管理及びこれに付帯する業務

3. 今後の展開

当社は、小型SAR衛星から取得するデータを活用した保険商品・サービスを検討します。また、国内外における防災・減災につながるサービスや社会インフラの維持管理等、新たな領域への応用を進め、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

検討する主な活用策	期待される効果
災害発生時の迅速かつ正確な被害範囲の把握	保険金支払いまでの期間短縮
保険金支払業務における損害確認の高度化・迅速化	現地調査の負担軽減および二次災害リスクの低減
洪水・土砂災害や地盤変動等の事前リスク評価モデル構築	リスク可視化による保険引受・料率算定の高度化
新たな保険商品・サービスの開発	衛星データを活用した新たな価値の提供

以上